



味坂っ子だより

◆2月の「人権を考える日」の取組から

2月7日は「人権を考える日」として、子どもたちも私たち自身も、自分の人権感覚を問い直す大切な日として学習に取り組んでいます。だいぶ日経ちましたが、学習をご紹介します。

【1年生:「いいところみつけ」】

自分や友だちのいいところを見つけることで、自分も友だちも嬉しくなることや互いに大切な存在であることに気づき、自分や友だちのいいところに目を向けていこうとする学習に取り組みました。

【2年生:「りえちゃん」】

友だちの一面だけを見るのではなく、いろいろな面を知ることによって友だちともっとなかよくなれることに気づき、友だちのことをもっと分かっていこうとする学習に取り組みました。

【3年生:「いえなかった」】

友だちの表面的な部分だけを見るのではなく、自分のことを話せる雰囲気を作り、言葉にできない思いを理解することでつながりをつくらうとする学習に取り組みました。

【4年生:「ざるにはざるを」】

主人公の次郎が受けた差別と大人になった次郎の行動を考える活動を通して、差別のおかしさに気づき、差別は許さないという気持ちを育て、差別を無くそうとする意志と行動力の大切さを学びました。

【5年生:「どうしてよんでくれなかったと?」】

子どもの頃、母親の一言で一番仲がよかった友だちを誕生日に呼ぶことができなかったおばあちゃんの後悔の気持ちに迫る活動を通して、住むところによる差別のおかしさを考え、差別をなくすためには正しく学ぶことが大切だと考えを深めました。



【6年生「解放の道ひとすじ～小郡市名誉市民 上杉佐一郎の生涯～」】

小郡市名誉市民「上杉佐一郎」さんの、生涯をかけて差別撤廃のために運動した生き方から、仲間と連帯して差別を無くしていくことの大切さを学びました。また、17日には、「小郡市人権教育啓発センター」を訪問し、上杉佐一郎さんの顕彰碑や書斎を見学し、佐一郎さんが小郡の出身であることへの誇りを感じていました。



◆児童集会「なわとび集会」

18日(金)の3時間目に、全校なわとび集会をしました。感染対策に気を付け運動場で距離をとり、黙って学級で決めた目標に向かってチャレンジしました。これまで色々な取組が中止になってきたなかでの取組、全校児童が集まったのスポーツ、子どもたちはとても楽しそうでした!

